

## 伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 宮崎栄樹

研修会名

まちづくり、ローカル起業を促進できる中間支援組織のあり方とは？  
～市民活動センター・創業支援センターを活性化するためのポイント～

日 時

7月 26日 10時 ～ 13時

場 所

オンライン参加

### 【研修の成果】

#### 主催

株式会社廣瀬行政研究所

#### 講師

広石拓司氏（株式会社エンパブリック代表取締役）

#### 目的と目標

目的 中間支援組織のあり方について学ぶ

目標 地域拠点における中間支援組織の育成や形成にいかす

#### 概要

1. 地域づくりを促進する中間支援組織が求められている
2. 中間支援組織とは？
3. 持続可能な地域づくりにおける中間支援組織の役割は？
4. 住民の主体的参加を促し、活動を活性化する支援力とは？
5. 中間支援組織の質を高め、活性化するには？

#### 所感

これからの地域づくりに、中間支援組織が重要かつ必要であることと、中間支援組織を育てていくことが必要であることを学んだ。

中間支援組織は、地域課題を解決するために、非営利団体や社会的企業、ボランティアなどの支援を行い、これらの団体と行政、企業など様々なセクター間において架け橋となって連携や協力を促進する役割を担う。主に、人材育成、資金調達の支援、セクター間のコーディネート、政策提言などを担う。伊賀市でいうと、市民活動支援センターや、ゆめテクノ伊賀、伊賀市社会福祉協議会などが挙げられる。多様化・高度化する地域課題を解決していくためには、行政の人員やノウハウだけでは難しく、多様な主体が取り組む必要であり、中間支援組織の役割は今後もより求められるところである。伊賀市では、都市マスタープランにおいて、旧町村に地域拠点を形成するために、各地域に中間支援組織を立ち上げることをしているが、進んでいない状況である。今後、市として、中間支援の重要性や必要性を再認識することが極めて重要であり、中間支援組織を育てる具体策を持つことが必要であると考える。

費用

旅費：

円

研修参加費：

15,000 円

合計：

15,000 円

領収書等添付用紙

議員名

宮崎栄樹

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費  
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。

# 領収書

2024年7月22日

宮崎 栄樹 様

金額

¥ 15,000

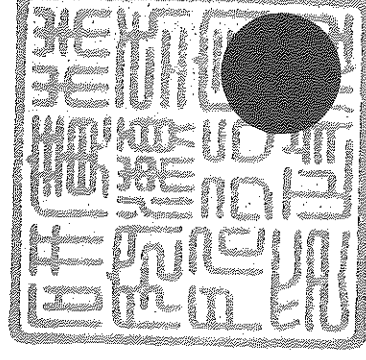
但 2024年7月26日 セミナー受講料として  
上記正に受領いたしました

〒112-0011

東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所

登録番号: T2011001095530



# 書類送付状

地方議会セミナー

オンライン参加者 様

書類名称	数
資料一式 (オンライン受講分)	1
アンケート	1
事前に ZOOM アプリのダウンロードをお願いいたします。	

備考

株式会社廣瀬行政研究所


TEL 03-6912-1930 / FAX 03-6912-2280

〒112-0011 東京都文京区千石 2-34-6 URL:<https://www.hirosegyoken.jp/>

# まちづくり、ローカル起業を 促進できる中間支援組織のあり方とは？

～市民活動センター・創業支援センターを  
活性化するためのポイント

---

  
empublic

Make!by Ourselves

広石 拓司

hiroishi@empublic.jp